



## 10 有限会社高田商店

令和3年10月認定



所在  
埼玉県幸手市大字中野316

主な業務内容  
製綿機械メンテナンス

従業員

4人

設立年月  
2001年7月

地震  
リスク 震度6強

水害  
リスク 洪水(利根川水系)、最大浸水深: 1.0-2.0m未満

### 概要 御社の概要を教えてください。

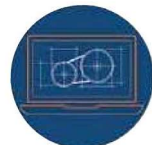
当社は繊維機械(主にカーディングマシン)の修繕、改造等のサービスを提供しています。

この機械は様々な業界の“**緑の下の力持ち**”のような存在であり、私たちは更に下からこの機械を取っていくプロフェッショナルです。

量産でも試作でも、異なる使用用途でも、私たちはお客様と機械の手助けをしています。

### きっかけ 事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

当社は繊維機械(主にカーディングマシン)の修繕、改造等を提供しており、**同業者が少なく当社が災害後迅速に復旧しないと顧客へ影響を及ぼす**ため、特に地域性より大雨等による水害を想定し、主に防災・減災対策に留意した事業継続力強化計画を策定しました。



### 苦勞 計画策定で苦勞した事と、その解決策を教えてください。

設備及び消耗品パーツが特異なため、浸水対策の重要性を感じていましたが、被害想定までは考慮されておらず、ハザードマップによる浸水深区分1.0m-2.0mの浸水を想定して、具体的に**一部設備の棚上げ処理、重要データのバックアップの別配管、多重配管等へ繋がっています。**

### 社内外の変化 事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

災害発生時の従業員・家族との連絡手段を取り決めて、**迅速に確実に連絡が取れる体制づくり**が進んでいます。また顧客の対象地域に災害が起きた時向けの災害対策等の案内を連絡する準備も進めています。

**認定済ロゴマークの有効利用も進めており、対外的なPRも行っております。**

### 進捗 策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

水害に対する被害想定より、事業継続力強化に資する対策及び取組に掲げた、従業員・家族の安全対策、一部設備の棚上げ処理、損害保険の見直し、各種情報の災害対策等に取り組み始めています。

更に**社内のビジネスフォンの新規更新を行い、連絡体制の強化**を行いました。

### 感想 事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

自然災害に対する被害想定はなかなか難しい面もありましたが、人員・設備・資金繰り・情報に分けて想定することにより、具体策も少なからず検討されてきました。

これを実行するためには日常の業務改善の必要性も感じています。

その結果として、従業員全員の災害に対する危機意識が高まり、**お取引先とのリモート会議による状況確認**への取組みも進んでいます。

### 感想 計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

計画策定の経緯の中で、なかなか**個社のみでは克服できない部分**も見えてきて、社内外に於ける連携対策の必要性を感じました。まずは事業継続力強化計画に取り組み、現状の危機管理の進捗状況を把握してみることをお勧めします。

また、専門家の策定支援も受けられ、スムーズな認定申請にも繋がります。

### 感想 紹介者からの一言(幸手市商工会)

幸手市商工会では金融・税務相談、補助金相談、経営革新計画策定など多くの経営相談を行っておりますが、最近では事業継続力強化計画の策定に関する相談も増えてきました。

事業継続力強化計画の**必要性は分かっているけど、計画はどのように策定するかが分からない方も多い**と思います。

そんな時、まずは商工会にご連絡ください。専門家支援を含め関係機関と連携しながら策定をサポートします。